中部管区警察局三重県情報通信部

オープンカウンター方式による見積依頼について

・随意契約を前提とした見積依頼です。
・提出された有効な見積書のうち、最低価格（消費税込み）を提示された事業者を契約の相手方とします。

《留意事項》

１　見積合せに参加する者に必要な資格等

⑴　予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。
　なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

⑵　予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。

⑶　警察庁から指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

⑷　警察当局から、暴力団若しくは暴力団員が実質的に経営を支配する事業者又はこれに準ずる者として、国発注業務等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

２　案件内容

別添「オープンカウンター方式による見積依頼案件」のとおり

３　連絡先（見積書等の問合せ先及び提出先）

〒514-8514　三重県津市栄町一丁目100番地
中部管区警察局三重県情報通信部通信庶務課経理係
代表電話番号　059-222-0110
ＦＡＸ番号　059-226-5305
メールアドレス　mie.CGA@npa.go.jp

※１　説明等を受けるため直接来庁される場合は、事前に電話連絡をお願いします。事前連絡なしで来庁されますと、担当者が不在の場合があります。

※２　見積書は持参、郵送を問わず、締切日時必着とします。見積書の提出期限までに提出、到達できなかった見積書は無効となることがありますので御注意ください。
　なお、見積書への押印を省略する場合はファクシミリ、電子メールによる提出も可能です。

※３　見積書の様式は、各社の見積書で結構ですが、別紙「見積書記載要領」の内容を満たしていなければ無効となることがありますので御注意ください。

４　相当品による参加申出

仕様書で相当品を「可」と提示している場合は、案件に係る相当品による見積参加を認めます。
相当品による参加を希望する場合は、見積書の提出期限の３日前（ただし、日数には土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める休日及び年末年始の休日を含まない。）までに相当品に係るカタログ又は仕様書を添えて、持参又は郵送（ファクシミリ、電子メールも可）により申し出てください。
相当品による見積参加の申出があった場合は、承諾の可否を連絡いたします。

５　契約の相手方及び契約金額について

提出された有効な見積書のうち、予定価格の範囲内であり、かつ、最低価格（消費税込み）を提示された事業者を契約の相手方とします。
見積額は、各案件において特段の指示のない限り、当該案件の履行に要する一切の費用を含んだ総価（消費税込み）を記載してください。
契約金額は原則として、見積書に記載されている金額（消費税込み）となります。

６　見積合せ結果について

参加事業者の方は、上記３に問い合わせいただければ決定業者及び金額についてお伝えします。

７　契約書等作成の要否について

会計法令等の規程に基づき、契約金額に応じ、指定の契約書又は請書を作成していただきます（契約金額によっては作成を省略する場合があります。）。

８　その他

見積書作成等に要する費用は参加者の負担とします。

別紙

見積書記載要領

各社の見積書様式での提出も可能ですが、以下の吹き出し部分の**内容は必須**です。なお、必須事項の記載なき見積書は無効となりますので、ご注意願います。

御　見　積　書

見積書提出日を記載してください。

令和　　年　　月　　日

中部管区警察局三重県情報通信部長　殿

下記のとおりお見積り申し上げます。

〇〇県〇〇市〇〇〇番地
〇〇〇〇〇株式会社　社印　代表者印
TEL　〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇
代表取締役社長　〇〇　〇〇

担当　　△△　△△
TEL　△△△△－△△－△△△△

※社印、代表者印の押印は省略可能ですが、省略する場合は、担当者名（フルネーム）と連絡先を記載してください。
代表者と連絡先が同じ場合は「連絡先は代表者に同じ」等の記載をお願いします。

消費税込みの見積額を記載

合計金額　￥〇〇〇，〇〇〇．－　（消費税込み）

品　　名	規　　格	数　量	単　　価	金　　額
令和８年度測定器校正（較正）作業		１式		〇〇〇，〇〇〇
			小　計	〇〇〇，〇〇〇
			消費税	〇，〇〇〇
			合　計	〇〇〇，〇〇〇

案件内容は、『オープンカウンター方式による見積依頼案件』に提示された件名「令和8年度測定器校正(較正)作業　1式　￥〇〇〇，〇〇〇」と記載願います。
また、最低価格の見積書を提示された事業者には、見積内訳書の提出を別途依頼します。

消費税額を計上してください。
消費税は円未満切捨てとなります。

オープンカウンター方式による見積依頼案件

案件番号	件　　名	仕様書の公開	見積書提出期限
10	駐在所通信機器整備等工事（８－３－１）	終了案件	令和８年10月21日 午後4時00分
11	車両賃貸借	公開	令和８年11月16日 午後4時00分
12	令和８年度測定器校正（較正）作業	公開	令和８年11月17日 午後4時00分
13			
14			
15			
16			
17			
18			

※　案件内容の説明等を受けるため直接来庁される場合は、事前に電話連絡をお願いします（事前連絡なしで来庁されますと、担当者が不在である場合があります）。

※　仕様書を公開していない案件については、「３　連絡先」記載の連絡先に連絡の上、仕様書を受領してください。

校　正　仕　様　書

１　作業名

令和８年度測定器校正（較正）作業

２　適用範囲

本仕様書は、測定器の校正及び較正（以下、「校正」という。）に適用する。

３　校正機器

別紙１「測定器一覧表」のとおり。ただし、作業を分割して実施する場合は、測定器の内訳を担当者と協議して決定することにする。

４　履行期限

令和９年２月26日（金）まで。

５　受渡場所

三重県津市栄町１丁目100番地

６　校正場所

受注者が指定する場所

７　作業内容

（１）次の測定器は、電波法第24条の２第４項第２号に基づく指定較正をすること。また、各種較正項目及び較正ポイントは、別紙２「較正概要」に基づき実施すること。

なお、指定周波数等は、別途、発注者から指示することにする。

ア 電界強度測定器
イ 周波数計
ウ 高周波電力計
エ スペクトル分析器
オ 標準信号発生器
カ １台の測定器で上記イ～オの測定機能を有する測定器

（２）（１）以外の測定器については、本体、構成品及び内蔵ユニットについて製造元の規格に基づく一般校正をすること。

（３）校正作業完了後、対象機器ごとに校正実施年月を記載した「校正ラベル」を本体に貼付すること。

なお、対象機器を引き渡す際は、「校正証明書」及び「校正成績書」又は「校正結果が分かる書類」を添付し、書類の「写し」を１部発注者へ提出すること。

（４）校正結果で規格値に適合しない対象機器が出た場合は、校正不合格の旨が記載された報告書を添付し、引き渡すこと。

８　一般的注意事項

（１）校正に使用する機材等は受注者が準備すること。

（２）対象機器の運送に係る以下の経費は受注者が負担すること。

ア　運送業者の手配（受注者にて運送業者と同等な運送が可能である場合は、受注者による運送も可とする。）。

イ　対象機器を保護する梱包材及び輸送ケース等の手配。

ウ　梱包、開梱及び発送。

（３）本仕様書に明記されていない事項についても、その性質上、本作業の範囲に含まれるものについては、受注者の負担において実施すること。

（４）将来、障害の発生を予見できる箇所及び障害箇所を発見した場合は、発注者に通知し、今後の対応を協議すること。

（５）作業において発生した損傷等の損害、作業従事者又は第三者に及ぼした傷害等はすべて受注者において補償すること。

（６）本仕様書に疑義が生じた場合は、発注者と協議し、指示に従うこと。

９　検査

提出された書類に基づき検査を行い、検査合格をもって校正完了とする。

別紙1

測定器一覧表

番号	測定器名	型式	製造会社	製造番号	数量	一般校正	指定較正（電波法第24条の二 第4項第二号に基づく較正）					その他の項目（一般校正）			備考
							電界強度測定器	周波数計	ｽﾍﾟｸﾄﾙ分析器	高周波電力計	標準信号発生器	高周波減衰器	ﾍﾞｸﾄﾙ変調解析ｿﾌﾄｳｴｱ	変調度計	
1	μL18形電力計	ML2437A	ｱﾝﾘﾂ	0740001	1 個					○					
	ﾊﾟﾜｰｾﾝｻｰ	MA24002A	ｱﾝﾘﾂ	0845357	1 個										
	固定減衰器	MP721E	ｱﾝﾘﾂ	6201174289	1 個							○			
2	μF18A計数形周波数計	MF2412C	ｱﾝﾘﾂ	6200726030	1 個			○							
3	μG7簡易形ﾏｲｸﾛ波信号発生器	MG724E1	ｱﾝﾘﾂ	6200727867	1 個						○				
4	ｽﾍﾟｸﾄﾙ分析器	MS2090A	ｱﾝﾘﾂ	2508008	1 個				○						
5	複合形電力計	TLD-53A-01	ﾌｼﾞｿｸ	98531	1 個					○					
6	通過形電力計 TLD-53A-02	TLD-53A-02	ﾌｼﾞｿｸ	97675	1 個					○					
7	通過形電力計 TLD-53A-03	TLD-53A-03	ﾌｼﾞｿｸ	98316	1 個					○					
8	無線周波総合測定装置	MS2830A	ｱﾝﾘﾂ	6262090033	1 個			○	○	○ ｽﾍﾟｱﾅ法	○		○	○	
	30dbｱｯﾃﾈｰﾀ	Model 48-30-34	ﾜｲﾝｼｪﾙ	CK7152	1 個							○			
9	ﾃﾞｼﾞﾀﾙ無線送信機ﾃｽﾀA(1)	MS2830A	ｱﾝﾘﾂ	6261838321	1 個			○	○	○ ｽﾍﾟｱﾅ法	○		○		
	30db減衰器	BW-30N100W+	ｱﾝﾘﾂ	2017014521	1 個							○			
10	ﾃﾞｼﾞﾀﾙ信号発生器 (2)	MG3710A	ｱﾝﾘﾂ	6261813081	1 個						○				
11	電界強度測定器	FL-2051B-01	ﾌｼﾞｿｸ※	98241	1 個		○								
12	空中線性能試験器	S331L	ｱﾝﾘﾂ	1751905	1 個	○									
13	ﾃﾞｰﾀ伝送試験器	1012A	NECﾈｯﾂｴｽｱｲ	10020143	1 個	○									
14	多機能ﾚﾍﾞﾙ測定器	LM-331	Oi Electric	13020561	1 個	○									

較正概要

別紙２

1　高周波電力計　　ML2437A

較正内容

(1)　周波数特性（ｄＢｍ）

レンジをＡＵＴＯ、３指定周波数、０（ｄＢｍ）入力時の較正値

500MHz　7000MHz　15000MHz

(2)　電力目盛（ｄＢｍ）

レンジをＡＵＴＯ、２指定周波数、10、-10（ｄＢｍ）入力時の較正値

500MHz　7000MHz

2　周波数計　　MF2412C

較正内容

(1)　基準周波数合わせ込み

１時間以上動作後の周波数偏差（率）

3　標準信号発生器　　MG724E1

較正内容

(1)　出力レベル（dBm）

３指定周波数、-10（ｄＢｍ）出力時の較正値

6.4GHz　7.0GHz　7.8GHz

(2)　減衰器目盛（dB）

３指定周波数、出力レベル（-20、-30、-50ｄＢｍ）出力時の較正値

6.4GHz　7.0GHz　7.8GHz

(3)　基準周波数合わせ込み

１時間以上動作後の周波数偏差（率）

4 スペクトル分析器　　MS2090A

較正内容

(1)　周波数特性（dbm）

指定周波数：５周波数、０ｄＢｍ入力時の較正値

10MHz　500MHz　2000MHz　2950MHz　10000MHz

(2)　減衰器目盛（dB）

１指定周波数のＲＦＡＴＴ（0→10、0→20、0→30）変化時の較正値

2000MHz

(3)　管面目盛（dB）（振幅）

指定周波数：１周波数のＡＴＴ（0→-10、-20、-30、-40、-50、-60、-70）変化時の較正値

2000MHz

(4)　管面目盛（KHz）（周波数）

１中心周波数を基準とし、周波数目盛を+100KHz～＋500KHz、-100KHz～-500KHzの較正値

2000MHz

(5)　基準周波数合わせ込み

１時間以上動作後の周波数偏差（率）

5　高周波電力計　　TLDシリーズ

較正内容

(1)　FWD（進行波電力）電力目盛（W）

３指定周波数の３レンジ（W）、３指定電力（W）入力時のFWD（W）較正値

150MHz　350MHz　450MHz

(2)　ＲＥＬ（反射波電力）電力目盛（W）

３指定周波数の３レンジ（W）、３指定電力（W）入力時のＲＥＬ（W）較正値

150MHz　350MHz　450MHz

6　複数の測定機能を有する測定器：無線周波総合測定器（MS2830A）

較正内容

●周波数計

(1)　基準周波数合わせ込み

１時間以上動作後の周波数偏差（率）

●スペクトル分析器

(1)　周波数特性（dBm）

指定周波数：５周波数、０ｄＢｍ入力時の較正値

10MHz　150MHz　350MHz　500MHz　2950MHz

(2)　減衰器目盛（dB）
　　１指定周波数のＲＦＡＴＴ（0→10、0→20、0→30）変化時の較正値
　　350MHz
(3)　管面目盛（dB）（振幅）
　　指定周波数：１周波数のＡＴＴ（0→-10、-20、-30、-40、-50、-60、-70）変化時の較正値
　　350MHz
(4)　管面目盛（KHz）（周波数）
　　１中心周波数を基準とし、周波数目盛を+100KHz～＋500KHz、-100KHz～-500KHzの較正値
　　350MHz
●高周波電力計
(1)　周波数特性（ｄＢｍ）
　　３指定周波数、０（ｄＢｍ）入力時の較正値
　　150MHz　　350MHz　　500MHz
(2)　電力目盛（ｄＢｍ）
　　２指定周波数、10、-10（ｄＢｍ）入力時の較正値
　　150MHz　　350MHz
●標準信号発生器
(1)　出力レベル（dBm）
　　３指定周波数、０（ｄＢｍ）出力時の較正値
　　150MHz　　350MHz　　500MHz
(2)　減衰器目盛（dB）
　　１指定周波数、出力レベル（-10、-30、-50、-70ｄＢｍ）出力時の較正値
　　350MHz

7　複数の測定機能を有する測定器：デジタル無線送信テスタ（MS2830A）
較正内容
●周波数計
(1)　基準周波数合わせ込み
　　１時間以上動作後の周波数偏差（率）
●スペクトル分析器
(1)　周波数特性（dBm）
　　指定周波数：５周波数、０ｄＢｍ入力時の較正値
　　10MHz　　150MHz　　350MHz　　500MHz　　2950MHz
(2)　減衰器目盛（dB）
　　１指定周波数のＲＦＡＴＴ（0→10、0→20、0→30）変化時の較正値
　　350MHz
(3)　管面目盛（dB）（振幅）
　　指定周波数：１周波数のＡＴＴ（0→-10、-20、-30、-40、-50、-60、-70）変化時の較正値
　　350MHz
(4)　管面目盛（KHz）（周波数）
　　１中心周波数を基準とし、周波数目盛を+100KHz～＋500KHz、-100KHz～-500KHzの較正値
　　350MHz
●高周波電力計
(1)　周波数特性（ｄＢｍ）
　　３指定周波数、０（ｄＢｍ）入力時の較正値
　　150MHz　　350MHz　　500MHz
(2)　電力目盛（ｄＢｍ）
　　２指定周波数、10、-10（ｄＢｍ）入力時の較正値
　　150MHz　　350MHz
●標準信号発生器
(1)　出力レベル（dBm）
　　３指定周波数、０（ｄＢｍ）出力時の較正値
　　150MHz　　350MHz　　500MHz
(2)　減衰器目盛（dB）
　　１指定周波数、出力レベル（-10、-30、-50、-70ｄＢｍ）出力時の較正値
　　350MHz

8　標準信号発生器　　MG3710A
較正内容
(1)　出力レベル（dBm）
　　３指定周波数、０（ｄＢｍ）出力時の較正値
　　150MHz　　350MHz　　500MHz

(2)　減衰器目盛（dB）

3 指定周波数、出力レベル（-20、-40、-60ｄＢｍ）出力時の較正値

150MHz　350MHz　500MHz

(3)　基準周波数合わせ込み

1 時間以上動作後の周波数偏差（率）

9　電界強度測定器　FL-2051B-01

較正内容

(1)　電圧周波数特性（dBμV EMF）

指定周波数：3周波数、80dBμV EMF(被較正器指示値）の較正値

150MHz　350MHz　500MHz

(2)　減衰器目盛（dBμV EMF）

1 指定周波数の被較正器指示値（70、60、50dBμV EMF）変化時の較正値

350MHz